



ジョブ・カードを使って
社員も会社も **もっと** 元気に！

応募書類・面接対策につながる自己理解セミナーを開催。
学生が楽しく取り組める工夫で高い満足度を達成！



【11月の講座】



【12月の講座 11月より4倍の参加者数】

【学 校 名】 学校法人 日本コンピュータ学園 東北電子専門学校
 【所 在 地】 宮城県仙台市
 【設 立】 1968年
 【業 種】 教育・学習支援
 【事業概要】 15学科 ビジネス分野、クリエイティブ分野、
 IT・AI分野、建築・工学分野、国際分野
 日本コンピュータ学園グループ
 東北保健医療専門学校、東日本航空専門学校、
 仙台国際日本語学校、JC-21教育センター

取り組み目的：

応募書類や面接に備え、自己理解を深める
ジョブ・カード研修の導入

取り組み内容：

ジョブ・カード作成前後にワークをし、
学生が楽しく取り組める工夫を実施

導入成果：

初回は任意参加、2回目は一部の学科必須参
加に進展、2月には追加講座を開催

Q.ジョブ・カードを導入しようと思ったきっかけは何ですか？

従前よりジョブ・カードは職務経歴のある社会人入学生には書かせていました。昨年9月に東北広域ジョブ・カードセンターから、ジョブ・カード作成に加えて、価値観、強みが確認できるワークを盛り込んだ講座の提案をうけました。就職活動前の学生に有効な講座と考え、開催を決定しました。

1回目は社会人入学生を対象にしましたが、2回目は高等学校からの進学の学生を対象に、実施しました。2月開催予定の講座は、2020年3月卒業予定で進路決定者向けの講座提案を受けましたが、就職活動直前の学生向けの講座として追加依頼しました。

Q.ジョブ・カードをどのように活用しましたか？

講師は、東北広域ジョブ・カードセンターより派遣してもらいました。講座では、講師と東北広域ジョブ・カードセンターのスタッフの方に、学生の状況をみてグループワーク時にファシリテートしたり、ジョブ・カード作成時には声掛けを積極的に行ってもらいました。

2回目の講座は、楽しさも加えてほしいという当校の要望に東北広域ジョブ・カードセンターが応えてくれ、性格の長特がわかる交流分析を講座に組み込む等工夫してくれました。さらにジョブ・カードに書き出した内容をもとに、自己PRの原型をつくるワークへと進めていました。ジョブ・カードに書き出すことで、自己PR作成に役立ち、応募書類作成の下地ができるツールとして活用していました。

Q.導入前後を比較して、あなた自身社員・組織にどんな効果がありましたか？

学生満足度が初回、2回目平均96%（大変有意義・有意義の合計）と好評で、真剣に取り組む学生が多かったです。アンケートのコメントには「自分の性格、価値観の分析ができた」「自己PRの作成や志望動機を語る上で役立つ部分になると思う」「心の中にあつたもやもや感が晴れたから」など、講座を通して自己理解を深めるきっかけとなっていました。

2月の追加講座でも就職活動を目前に控えた学生へ意識づけに期待しており、来年度の講座導入も検討しています。